

自然大好き ねいの里だより

56

マンサク

冬枯れの里山で早春、真っ先に咲きたす花があります。黄色くて細長い、小さなリボンのような花弁のマンサクです。春一番に咲くことから、「まず咲く」という言葉が訛ってマンサクの語源になったという説があります。

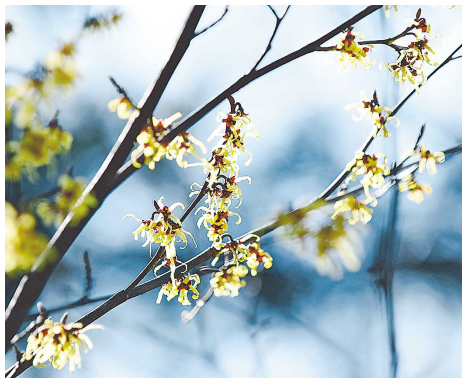
春の訪れ告げる花

マンサクの木は古くから生活の中に取り入れられていて、身近なところでは雪の上を歩くときに使うカンジキを作る材料にします。マンサクは別名「ねそ」といって、木をねじって柔らかくしたものは、五箇山などで合掌造り家屋の柱を縛るのに使

用しています。い
ずれも木の粘りが
強く、折れにくい

性質を利用したものです。

ねいの里では今月下旬に咲き始めます。黄色い小さな花を見つけ、春の訪れを感じてみませんか。(松崎勇)



早春真っ先に咲くマンサク



かんじきを作る
材料にもなる